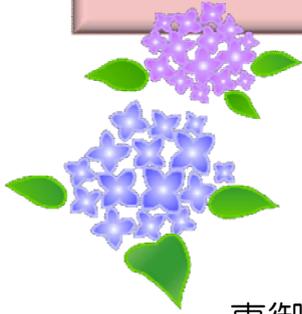


ぶんしょかんつうしん
文書館通信

東御市文書館
vol. 23号
令和7年6月発行



☎ 文書館直通 0268 - 67 - 3312
文化スポーツ振興課 直通 0268 - 71 - 0670
✉ メールアドレス bunshokan@city.tomi.nagano.jp



東御市文書館は、令和7年4月から再開館しています。
事務室・閲覧室・文書整理室・会議室・文書保存室があり、文化財展示室・文化財整理室が併設されています。古文書の資料閲覧の対応も行っております。皆さん、お立ち寄りください。
(平日) 午前9時から午後4時まで (当面の間)
(土・日・祝日・年末年始) 休館



【民具の展示】



【縄文土器の展示】

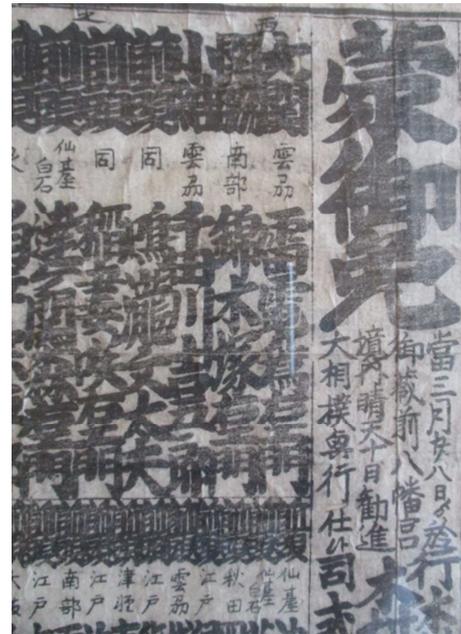


令和5年度の発掘調査の成果

住宅建設に伴い発掘された石堂遺跡(原口)から出土した縄文土器を展示しました。今から5400年ほど前のもので、地元色の強い土器と、北関東地方の土器の影響を受けた土器が一緒に出土しました。

雷電為右衛門関没後 200年 企画展示

本年は雷電為右衛門関没後 200年にあたり、当館所蔵の番付表と手形扇面の写しを企画展示いたします。併せて、雷電関の錦絵等（複製）を展示いたします。



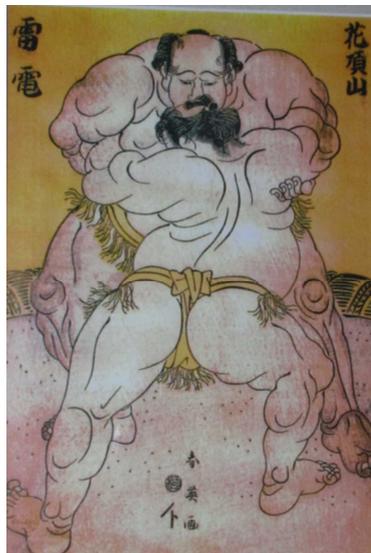
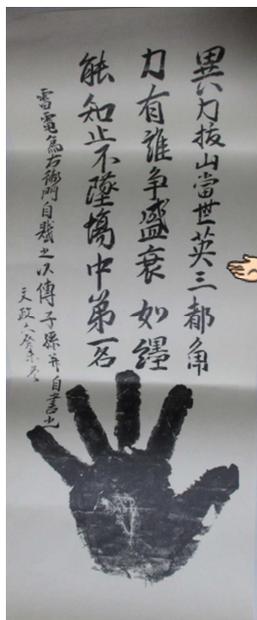
寛政九年春場所番付表 (1797年)

江戸は浅草八幡宮で3月に行われた時の番付で、木版で印刷されたものです。雷電は最高位の西の大関で、本場所の成績は8勝1敗でした。雷電は通算成績は254勝10敗2分14預5無勝負(35場所)で、10敗の内の一が本場所の東の前頭花頂山との一番でした。9割6分2厘の勝率です。



雷電の手形

扇面型に雷電の手形と「百里をもおどろかすべき 雷電の手形をもって 通る関とり」蜀山人(太田南畝)の狂歌が添えられています。木版による印刷です。太田南畝は御家人で天明期を代表する文人・狂歌師でもありました。



【雷電関の錦絵等(複製) 期間展示 6月2日から8月29日まで】